

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Vol.01
2020

07

Rotary



Rotary Opens
Opportunities

Rotary International District 2530



「尾瀬ヶ原と至仏山」(撮影：太田浩之)

CONTENTS ガバナー月信 2020年07月号

RI会長メッセージ	2	幹事の抱負	5	地区関係行事予定(2020)	14
ガバナーメッセージ	3	2020-21年度 地区組織図	6		
第2020-21年度地区運営方針	4	2020-21年度 地区資金予算書	8		
地区重点活動目標	4	ガバナー補佐方針	10		
国際ロータリーとロータリー財団の2020-21年度年次目標	5	地区研修・協議会報告	12		

国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒 秀 司

2020-21年度 ガバナー事務所 〒963-8004 福島県郡山市中町3-5 新城ビル3F
TEL:024-953-3907 FAX:024-953-3908 E-mail:2020-21ishiguro@ri2530.com

RI会長メッセージ



2020-21年度
国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク

ロータリーは機会の扉を開く

(RI 会長エレクトのテーマ講演より抜粋)

ロータリーが唯一無二で、世界とシェアするに値する存在であるのはなぜでしょうか。皆さんご自身や奉仕の受益者に、どのような比類ない機会への扉を開くことができるでしょうか。

私たちは人との交わりを楽しみます。世界のどこへ行こうと、出会ったロータリアンと親友になり、もっと一緒に時間を過ごしたいと感じます。私たちは、異なる環境、異なる世代、言葉、文化をもっています。ロータリーでの過ごし方でさえ、国によって、またクラブによって異なります。この多様性こそが、ロータリーを素晴らしいものとしているのです。

私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情でつながり、「四つのテスト」を信じています。ロータリーを経験する方法はいたるところで異なりますが、「四つのテスト」は誰にとっても同じです。

ロータリーは、奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは、意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは、寄付だけでなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見ることができます。これは、他にはない機会です。

プロフィール

ホルガー・クナーク

2020-21年度会長

Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータリークラブ所属
ドイツ

1992年にロータリー入会。ロータリーの財務長、理事、モデレーター、各種委員会の委員や委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任。現存は恒久基金/大口寄付アド

バイザーを務める。

ロータリーは、奉仕のアイデアを実行に移すために、世界を旅する機会を私たちの多くに与えてきました。

ロータリーはまた、リーダーシップの機会も与えてくれます。私たちは皆、新しい大きな責務を引き受けました。これは、自分自身の栄光のためでなく、ロータリーのために、ロータリーのネットワークを強化する機会です。人びとのためにリーダーシップへの道を切り開いてあげることこそ、真のロータリーの理念であり、そうすることで皆さん自身がより効果的なリーダーとなります。

私たちがここに来たのは、ロータリーがもたらす機会を信じているからです。それは、ほかの人びとにとっての機会であり、私たち自身にとっての機会です。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると信じています。私たちはまた、どんな奉仕の行いも、インスピレーションを与えることで私たちを変える力をもっていることを知っています。

ご存知の通り、ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。

私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。

ロータリアンとして、ロータリーにとってのこの素晴らしい時にリーダーの役割を務められることは幸いです。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。

従って、私たちの年度のテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。

バイザーを務める。

不動産業を営む「Knaack KG」のCEO。125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネジャー。

地域社会では、ラッツェブルク市市民財団の創設メンバーであり、Gut Grambekゴルフクラブの会長を務めた経験をもつ。カール・アダム財団の会長で創設者。

スザンヌ夫人とともにメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2530地区
2020-21年度ガバナー

石黒 秀 司

RI第2530地区 ロータリアンの皆さまへ

2020-21年度国際ロータリー第2530地区のガバナーを務めさせていただきます郡山RC所属の石黒秀司と申します。「いよいよ、始まる」との高揚感が体を包むと同時に、第2530地区の輝かしい伝統と責任の重さをひしひしと感じ大変な緊張感が同居しています。できる限り、いや、できる以上に精一杯、頑張ります。1年間どうぞ、よろしく願い申し上げます。

まずは、この大変な有事に限られた環境の下でしっかり準備していただき、新年度を迎えられたクラブ会長の皆さま、クラブ会員の皆さまに衷心から厚く御礼申し上げます。

「本当にありがとうございます。」

1月の国際協議会でRI会長ホルガー・クナーク氏から「ロータリーは機会の扉を開く」のテーマが発表され、そのテーマを受けて地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会と正に、ホップ・ステップ・ジャンプと弾みをつけて7月を迎える所でしたが、新型コロナウイルス禍の環境下で、多くの制約を受け、PETSはDVDにて開催、地区研修・協議会はオンラインでの開催となり、フェイスtoフェイスでの会議も儘ならず、皮肉にも「オンライン会議への扉を開いた」結果となりました。また、新型コロナウイルス拡大により緊急事態宣言中は、全クラブが例会休止となり、世界恐慌を超える経済危機も予想される中、会員の退会者続出など、数か月前には予想もなかった大変厳しい状況となっています。その一方で、「例会開催は、当たり前ではない。感謝すべきことであり、出席は、喜んで」と新たな気付きもあったと感じています。また、オンラインによる地区研修・協議会実施に当たっては、熱心にオンライン体験会で勉強いただいた会員の皆さまやクラブ独自にオンライン勉強会を開催いただくなど区内会員の皆さまのパワーの結果を見ることができました。果敢にオンライン会議開催に挑んだことは、国内の他地区では稀で、今後の大きな地区の可能性を見た思いです。

「夜の明けない朝はない」などの、この厳しい状況の肯定的・積極的解釈が大事だと考えます。私の愛読書「人生で起きること す

べて良きこと」～逆境を超える「こころの技法」の中には「…何が起ったか それを、我々の人生を分けるのではない。起ったことをどう「解釈」するか それを、我々の人生を分ける…」と記載があります。今回の不測の事態は、私たちに「例会の大切さ」を教え、日本のロータリー 100周年の幕開けに私たちが心から愛するロータリークラブが、より輝くための工夫や変革の機会を与えていただいたと考え、今後、積極的に肯定的に行動・考動したいと考えます。そして、今回の事態を大きく飛び立つための一時の屈みだと考え、飛躍の時に備えたいと思います。

さて、「ロータリーモーメント」ということばを聞いたことがあるでしょうか？田中作次2012-13年度RI会長が呼びかけたものです。心に残るロータリー体験のことであり、単なるロータリー会員から真のロータリアンになった時の体験をいうそうです。私の場合は、地区での米山記念奨学生や旧ロータリー財団奨学生の募集、選考の担当をした時に、日本で夢を具現化しようと熱い情熱漲る外国人青年や海外に飛び立って行く進取の精神に富む日本人青年との接点をいただき、大いに彼らと語り合ったことで、人生のソフトランディングさえ考えていた私を「このままでいいのか?」「私もこうしてはいられない!」という意欲的焦燥感が包み込みました。「折角受けた生、自身を最大限に生かして、世の為に体を使いたい」との動機付けに繋がったと思っています。この出会いはたまたま偶然ではなく必然だったと感じています。その他にも、私の知る所でも「Exchange idea」により気付きを得て、大きく事業の改善に生かした会員がいます。「四つのテスト」を社内に掲示、実践していたら、本当に業績が急向上した会員がいます。さらに、精神的親睦が繋がった会員と他愛もない会話が良く心の安寧を例会に感じる会員がいます。

このような先の見えない厳しい環境下だからこそ、例会第一主義で、できる範囲の中でそれぞれがロータリーモーメントを感じる1年にしてみませんか。

厳しさの中にも明るさを以て、今年度も6月21日の会員増強セミナーを皮切りに力強く前に進み出しました。「各人の運命は、各人の手中にあり。」というように「ロータリーの運命もロータリアンのそれぞれの手中にあり」です。それぞれのベクトルは、細く短く弱くても結集することで、太く長く力強いベクトルに。愛するロータリーの為に、世界2530地区の為にベクトルをしっかりと合わせて共に、スクラム組んで歩みましょう!!

さあ、ロータリーは様々な機会を提供しています。まずは、私たちロータリアンにもたらす機会であり、リーダーシップの機会や生涯続く友情の絆を築く機会などです。また、奉仕プロジェクトを通じて、自分自身や受益者の人生を豊かにするための道をひらき、誰かの為の機会の扉を開いています。

「ロータリーは機会の扉を開く」

テーマロゴマークに示された扉を私たちが自ら心開いて、強く押し開きましょう。大きな機会への招待が用意されているはずです。

どうぞ、よろしく願い申し上げます。

プロフィール

■氏名 石黒 秀司 (いしぐろ ひでじ)
 ■生年月日 1957 (昭和32)年11月7日
 ■所属クラブ 郡山ロータリークラブ
 ■職業分類 衣料販売
 ■事業所名 ㈱石黒
 ■役職 代表取締役
 ■勤務先住所 〒963-0547
 福島県郡山市喜久田町1-120-1
 ■自宅 〒963-8005
 福島県郡山市清水台2-8-16
 ■最終学歴 1980年3月 成城大学経済学部卒業
 ■現職 ㈱石黒 代表取締役
 (南)トップコーポレーション 代表取締役
 (南)みわ商事 代表取締役
 ■ロータリー歴 1998年3月5日
 郡山ロータリークラブ入会
 2006-07年度 郡山ロータリークラブ幹事
 2010-11年度 第2530地区ロータリー財団
 学友・奨学金委員会 委員

2011-12年度 第2530地区ロータリー財団
 学友・奨学金委員会 委員長
 2012-13年度 第2530地区ロータリー財団
 学友・奨学金委員会 委員長
 2013-14年度 第2530地区ロータリー財団
 教育的プロジェクト委員会 委員長
 2014-15年度 郡山ロータリークラブ会長
 2015-16年度 第2530地区中央分区分ガバナー補佐
 2016-17年度 第2530地区米山記念奨学会委員会
 副委員長 兼 選考委員会 委員長
 第2530地区米山記念奨学会委員会
 委員長
 2018-19年度 ガバナーノミニ
 2019-20年度 ガバナーエレクト
 2018年 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
 2018年 米山功労者 第4回 (マルチプル)
 2020年 ロータリー財団メジャードナー

2020-21年度地区運営方針

今年には日本にロータリークラブが誕生し、100年の節目を迎える。祝賀ムードもある中で、未曾有の大震災から10年、さらに昨年の台風による水害など大天災が頻発、人口大幅減少時代への突入など厳しさも同居している。そして今、新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言の中、正に不測の事態の中、新年度を迎えようとしている。こんな環境はロータリーの歴史の中でも初めてかもしれない。諸々の行事、イベントは勿論、例会すら中止になり、先輩ロータリアンの皆様が最重要視してきた「規則的例会出席」の基本原則も危く、「例会は当たり前のことではなく、感謝すべきこと」だと改めて感じている。この節目の年に、未曾有の環境下で、今一度、過ぎ去りし100年を回顧して、今だから、できること、やらなければならないことをしっかりと意識し、良きロータリー、また良き第2530地区を築き上げる覚悟を新たに、地区内会員のベクトル合わせをしっかりとしながら、進んで行きたい。

100年の歴史の中には、特に、戦時中などは、身の危険も顧みず、恰も隠れキリシタンのようにロータリー運動を続けていった厳しい時期もあった。そんな我々の先輩たちの強靱な魂と誇りをしっかりと胸に深く刻んでいきたいと思う。

2世紀の幕開けの今、基本に立ち返る。さらに、パイの縮小時こそ、個々のクラブのパワーや会員の質の向上が必要であり、イ

ノベーションによる閉塞感の打破も必要だと思う。その為に、会員が何を求めているのかを的確に捉えることも重要だと考える。原点に立ち返る、それは、ロータリーの真髓ともいべき「ロータリーの目的」の熟読玩味・実践、さらに「四つのテスト」の徹底実践だと強く信じている。

ただ、その正直か正しいかの大切さに加え、地区発展のために変化・改革へも果敢に挑む姿勢で考え、行動する一年にしたいと考える。

そして、新型コロナ禍の中、今だからできる事に気付き、変えざるを得なかったことは、「ロータリーが機会の扉を開いてくれた」ことと前向きに、肯定的に捉えていきたい。

今年度、私は、「サーヴィスと良きロータリーの為に」また、こんな未曾有の状況下だから

Participate and Enjoy ROTARY

と声を大にして呼びかけたい!!

「磨き合い自己成長の楽しさ」「集える接点の楽しさ」「成果を上げる楽しさ」

それぞれが、それぞれの立場でENJOYしよう!!

地区重点活動目標

～ ONE ISSUEは、会員増強 と 会員基盤・クラブ基盤の向上～

1. 例会最重点主義で、 例会出席者の純増・出席率を高める。 (内なる会員基盤・クラブ基盤向上)

会員増強の強の部分の徹底を図る。

例会を第一と考え、魅力ある例会の設営し、例会の活性化を図る。平均出席率が高くなければ重要な目的を遂行しえないのがロータリーだと考える。しかし、多忙な会員が週一度、例会に出席するには、何か強い引力がなければならない。それは、何か?

それぞれのクラブで創立時の精神に立ち返っていただき、ロータリー創成期の「親睦+奉仕 利己と利他の調和 Exchange idea」を胸に刻む例会を設営して、例会の活性化・魅力の向上が、ロータリアンを強くし、クラブが強くなることに繋がり、引いては、高潔な倫理を待った誇り高き人を育てる。

1974年度ウィリアム ロビンズRI会長は、「そのクラブが、如何なる人を育てたかによって、ロータリーの価値は測られる」と言っている。特に、新会員の教育は重要だと考える。

ロータリーのより大きな繁栄を実現するために、ロータリアンの基本的義務である例会出席は当然のこととし、IMや地区大会にも奮ってご参加を!!

その為、卓話者バンクを創設、また、FBロータリー情報館の新設などで、例会情報を公開で、魅力ある例会への協力をする。

2. 会員増強目標 2,530名(女性・40歳以下 253名)

当地区の会員数は、1997年の3,273名をピークに2012年の2,225名まで減少、下げ止まりの傾向もあるなかで、2,300名程度に低迷しています。また、各クラブの実質出席率の低迷している状況にあります。過去5年の地区会員数を見ると、全体での減少率は、1.2%程度であり、余り気にならない感じではあるものの、分区分ごとの推移を見ると、増加分区分と減少分区分の二極化が進んでいるのがわかります。特に、減少分区分ほど、会員数25名以下の小規模クラブが多くなっています。地区目標をガバナーが掲げ、ガバナー補佐へ、ガバナー補佐からクラブ会長・幹事へ、そして、クラブ会長からクラブ増強委員長への先送りではなく、地区の総力を上げての本気の増強をして参ります。

また、会員構成の少ないところ、女性会員と40歳以下の会員

増強も積極的にアタックして参ります。ただし、会員選考の重要性を十分に考えて行くのは、当然です。

地区とクラブの最もステイキな関係にあるガバナー補佐を全員、増強委員会の所属とし、増強委員会委員も各分区分から最低1名ずつの増強チームを作り、クラブ支援します。

新型コロナウィルス禍、私たちを取り巻く環境は、大変に厳しい。でも、取って掲げる目標は、下げずにチャレンジします。

3. 福島職業宣言成文化

冒頭に記したように日本のロータリー100周年、さらに、東日本大震災から10年目の節目の年度となります。100年の回顧から更なる充実を、そして鎮魂からの新たなる飛躍を期して、また、職業倫理が荒廃している昨今、職業奉仕の深堀として倫理経営のバックボーンとなる、倫理運動の実践者としての福島職業宣言をする。

職業奉仕委員会が中心となり起草し、諮問委員会のご意見を集約し決定したい。

4. 青少年ショート交換事業実施への研究

当初、新しい事業として青少年ショート交換事業を企画していました。しかし、新型コロナウィルス禍で、実施は困難と判断いたします。しかし、その必要性の認識は変わりません。プロバターの青少年交換、ロータリー財団奨学生への誘いとなるキッカケとして調査、研究を進めて参ります。

人づくりロータリーの私たちが「立派に育てる」に関わる事業に自負をもって取り組みます。さらに、ローターアクトクラブとの積極的関わりを促します。

また、トーストマスターズなど他団体との接点を模索してまいります。厳しい環境下で限定的になるかもしれませんが、モチベーションが下がらないように、知恵を結集して工夫していきたいと思っております。

5. 横断的な委員会ジョイントでの活動の強化

一つの委員会が単独で実施するより、複数の委員会が協力してやった方が、良いのではということが、散見されたように思っています。また、委員会セミナーも講師や内容によっては、合同が効果的というのも出てくる。是非、横断的協力で、最大効果を得よう進めたい。21Cのボーダレス社会では、境界がな

いわけですので、コミュニティの範囲も地球全体に広がっていく。社会奉仕という概念は拡大されて、国際奉仕や社会奉仕を包括したようなものになり、それにロータリー財団の活動が加わって渾然一体となって機能していくと考える。

例えば、ポリオ根絶に向けてもロータリー財団委員会+公共イメージ委員会+国際奉仕委員会+一般市民、業界団体などが考えられます。

それら一般市民への呼びかけの事業により「ロータリークラブ」の認知度アップのために公共イメージ委員会を中心に積極的に行動（考え動く……）します。

6. ロータリー賞への挑戦

ロータリー賞への挑戦が、クラブを活性化に繋がることの報告があります。クラブ活性化が引いては、地区の活性化へと繋がります。

各クラブへの積極のお声かけをして参ります。

7. ロータリー財団への理解と活用

「世界で良い事をするために、そしてポリオ根絶するために」ロータリー財団への協力を心からお願いいたします。ロータリー財団というと「寄付」というどちらかというと「暗い。重い」イメージが強いかと思いますが、世界で良い事を企画・立案、実施、満足という事業のワクワク感、それもワールドワイドの大きい事業も視野に入れて、積極的に事業計画、補助金活用をお願いいたします。

まず、企画面での1クラブ1申請を目標に！

先に、事業計画ありきでお願いしたいと思います。

その後で、寄付ということですが、年次寄付0「ゼロ」クラブが0「ゼロ」快挙を12月で達成できますようご協力をお願い

いたします。

数値目標として 年次基金

1人あたり150ドル

ポリオ根絶に

1人あたり30ドルのご協力をお願いいたします。

さらに、今年度は、ロータリーカードの積極的普及のご利用をお願いする予定です。年会費無料のカードで、少額の利用でも蓄積されると大きな活動資金に変身いたします。是非、「ご支援」よろしくをお願いいたします。

ポリオ根絶に向けては、世界予防接種週間（4月最後の週）、世界ポリオデー（10月24日・地区大会1日目）での一斉行動いたします。

8. 米山記念奨学会への協力

是非、米山記念奨学事業へご参加（Participate）いただき、米山奨学生と接点をお持ちいただきたいと思っております。奨学生との接点で思わぬ学びを得ることがあります。まさに「情けは人の為ならず」です。

基本的には、寄付金の額により奨学生の採用人数が決まります。寄付0「ゼロ」クラブが出ないようにご協力をお願いいたします。

数値目標として

普通寄付 5,000円

特別寄付 10,000円 をお願いいたします。

なお、今年度は地区大会開催時に「米山ナイト」を開催します。米山学友、地区委員会関係者、カウンセラー、現奨学生にご参集いただき、地区米山を盛り上げていく予定です。さらに、財団学友などへも輪を広げていくことも考えています。

国際ロータリーとロータリー財団の2020-21年度年次目標

優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調（Highlight）する。
2. 2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やす。
3. 地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの測定可能なインパクトを向上させる。
4. 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、政府機関との機会も含め、新たなパートナーシップを築く。

優先事項2 「参加者の基盤を広げる」の目標

5. 新クラブと革新的なクラブおよび参加者の参加経路を立ち上げるにより、また、既存のクラブにおける新会員の入会を促進することにより、参加者の増加と多様化を図る。
6. ロータリーに入会する女性会員、40歳未満の会員、ロータリーアクターの数を増やす。

7. 世界を変える行動人としてのロータリーとロータリアンの認知を高める。

優先事項3 「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

8. インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員、その他のロータリー参加者の積極的なかかわりを促す。
9. すべての参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブの間の協力を増やす。
10. 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、新たなパートナーシップを築く。

優先事項4 「適応力を高める」の目標

11. ロータリーのリーダーシップ構成への調整を行う。
12. ロータリープログラムの活動の焦点を定め、また絞る可能性も視野に入れる。

地区幹事抱負

地区幹事 関根 信（郡山RC）

郡山ロータリークラブは、1936年5月19日東京クラブをスポンサーとして誕生、今年創立85周年を迎え、お陰様で石黒秀司ガバナーで創立以来5人目を輩出することとなりました。

個人的なことで恐縮ではございますが、実は石黒秀司ガバナーから地区幹事の依頼が何度かあって、最後まで固辞しておりました。

というのも、この6月末までクラブの会長という重責を担っておったからです。

それでも結果、お引き受けする覚悟をし、2020年に入りガバナーエレクト行方事業が具体的に動き出すと、予想通りそれぞれの事業を行うための準備に相当な時間を費やし、又いろいろな調整が必要なことも痛感しておるところです。

この地区幹事の任の重さに、改めて身の引き締まる思いでござ

います。

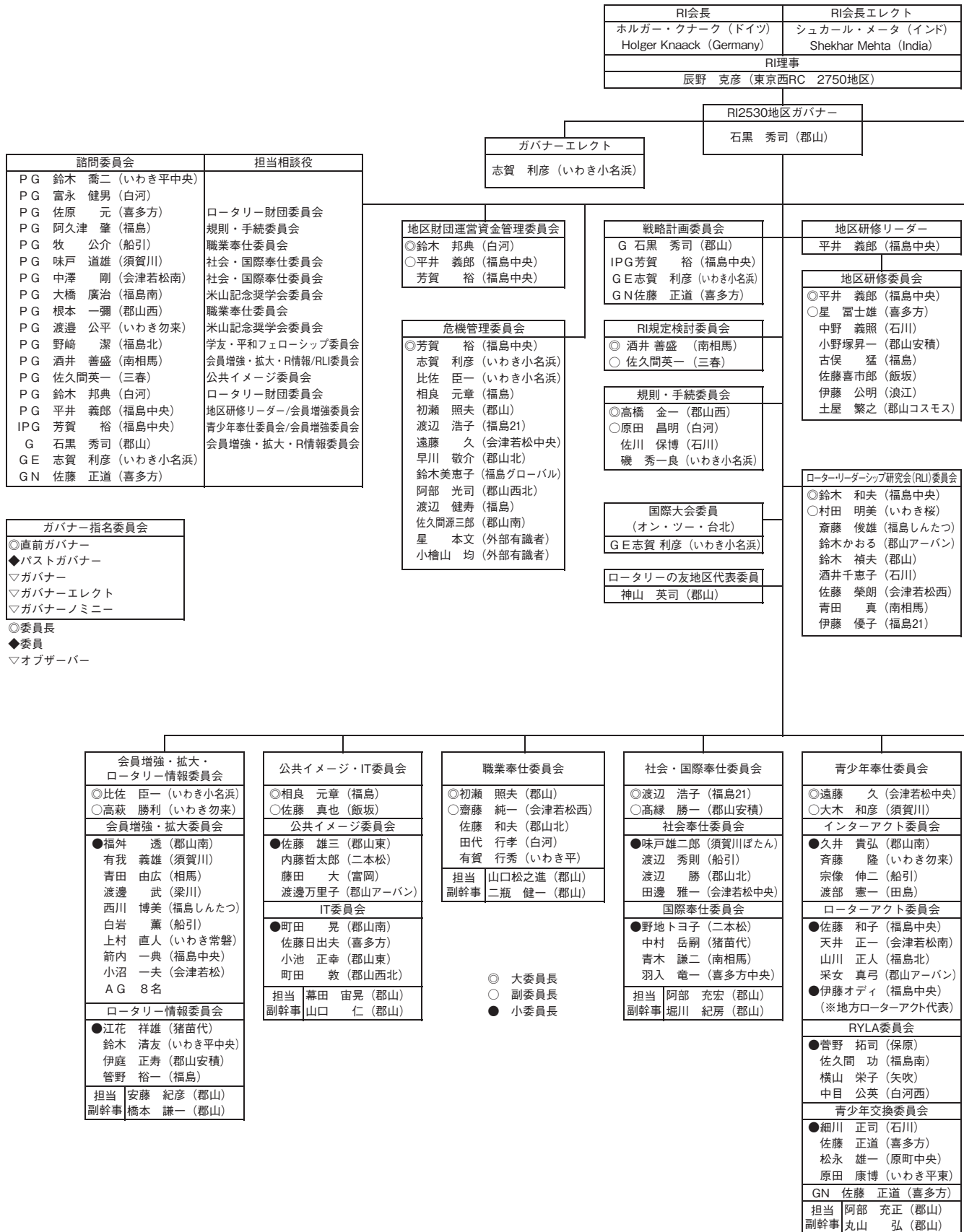
まずもって、エレクト期間中に開催しなければならない事業の一つでもあります。地区研修・協議会を5月6月で4回にわたりオンラインミーティングで、何とか無事に終えたところでございます。

地区内全ロータリアンの皆様のご協力に、この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。

さて、これからが本番です。決意を改め、勇気と情熱を傾け石黒秀司ガバナーと一緒に、そしてある時は石黒秀司ガバナーを力強く後押しできるよう、自分なりに支えていきたいと思っております。

浅学非才の身ではございますが、でき得る限り精一杯努めて参りたいと存じますので、ロータリアンの寛容の精神に免じて会員皆様のご支援ご協力を賜りますよう、一年間どうぞよろしくお願い致します。

2020-21年度 地区組織図



規定審議会代表議員
 (一社)国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構 社員 PG 酒井 善盛
 ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター PG 佐久間英一
 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事 PG 野崎 潔
 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員 PG 大橋 廣治
 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会財務委員 PG 渡邊 公平
 PG 平井 義郎

ガバナーノミニ
 佐藤 正道 (喜多方)

副ガバナー
 平井 義郎 (福島中央)

分区	中央分区	県北第一分区	会津分区	いわき分区	県北第二分区	県南分区	相双分区	県中分区
ガバナー 補佐	藤田 弘美 (郡山アーバン)	廣澤 俊樹 (福島南)	渡部 英一 (猪苗代)	林 義功 (いわき内郷)	佐久間弘行 (川俣)	遠藤 武士 (矢吹)	赤井 博道 (富岡)	角田 恒雄 (本宮)
クラブ名 会長名	郡山	福島	会津若松	いわき平	飯坂	白河	原町	本宮
	池田 達哉	五阿弥宏安	渋川 武彦	八幡 恭朗	菅野 浩司	佐藤 厚潮	岡崎 五郎	渡辺 弘一
	郡山西	二本松	喜多方	いわき小名浜	福島北	須賀川	相馬	三春
	濱尾 博文	杉島 洪徳	佐藤 正道	阿部 吉宏	半沢 泰夫	吉村 安寿	館山友美子	山口 進
	郡山東	福島南	会津若松西	いわき勿来	保原	東白川	浪江	常葉
	根本 朝秋	松崎 弘昭	山田 真司	越田和徹充	酒井 淳	小林 千秋	増子 義夫	吉田 太一
	郡山南	福島西	猪苗代	いわき内郷	福島東	石川	富岡	滝根
	力丸 美彦	黒澤 信之	土橋 養吉	鈴木 礼子	太田 哲	酒井千恵子	西山由美子	白石 勝敏
	郡山北	福島中央	会津坂下	いわき常磐	梁川	矢吹	原町中央	船引
	加藤 正志	佐藤 龍史	佐野 常則	磯上佐太彦	松原 俊夫	横山 栄子	大村 芳子	菅野 正明
	郡山西北	二本松あだたら	田島	いわき平東	川俣	白河西	南相馬	小野
	佐久間 洋	穴戸 光英	渡部 正晴	草野 健	山口 京子	吉野 敬之	青田 真	草野 利吉
	郡山安積	福島21	会津若松南	いわき四倉	だて西	須賀川ぼたん		
	根本 克則	伊藤 淳一	角田 光明	渡辺 昌弘	阿部 真樹	郡部 仁喜		
	郡山アーバン		会津若松城南	いわき平中央	福島しんたつ	白河南		
	鈴木かおる		赤城 明広	細川 徹	一條 雅敏	連沼 一紀		
	郡山コスモス		喜多方中央	いわき桜				
	陰山 知秀		佐藤周一郎	矢吹 知子				
福島グローバル		会津若松中央						
石井 辰一		神保 優子						
分区 幹事	郡山アーバン 橋本 弘幸 井上 厚	福島南 林 克重 赤間 浩一	猪苗代 江花 祥雄 獅戸 卯一	いわき内郷 渡邊 邦雄	川俣 紺野希予司	矢吹 館 秀幸 伊藤 正広	富岡 柳澤 幸治	本宮 丸山 京男 渡辺 孝男

地区幹事
 関根 信 (郡山)

地区代表副幹事
 菅野 秀士 (郡山)

地区副幹事
 阿部 充宏 (郡山)
 阿部 充正 (郡山)
 安藤 紀彦 (郡山)
 大木 勝浩 (郡山)
 佐藤 聡 (郡山)
 酒井 良胤 (郡山)
 鈴木 正晃 (郡山)
 中原 喜範 (郡山)
 二瓶 健一 (郡山)
 橋本 謙一 (郡山)
 堀川 紀房 (郡山)
 幕田 宙晃 (郡山)
 丸山 弘 (郡山)
 山口松之進 (郡山)
 山口 仁 (郡山)
 横山 大 (郡山)
 安藤 正道 (福島中央)
 蛭田 修二 (いわき小名浜)

地区資金委員会
 ◎福島 佳之 (郡山)
 ○高橋 裕一 (郡山)
 鍛冶 輝雄 (福島中央)
 菅原 寛 (いわき小名浜)

会計監事
 新城 義雄 (郡山)
 遠藤喜志雄 (郡山)
 佐藤 晃子 (福島中央)

月信委員会
 ◎有賀 隆宏 (郡山)
 ○宮川 雄次 (郡山)
 佐藤 聡 (郡山)
 高橋 裕一 (郡山)
 坂本 和久 (いわき小名浜)

地区大会実行委員会
 ◎太田 宏 (郡山)
 ○神山 英司 (郡山)
 ○遠藤友紀晴 (郡山)
 ○初瀬 照夫 (郡山)
 ●大会幹事
 初瀬 照夫 (郡山)

地区研修・協議会実行委員会
 ◎鈴木 禎夫 (郡山)
 ○大野 勝久 (郡山)
 ○湯浅 大郎 (郡山)

ロータリー財団委員会
 ◎早川 敬介 (郡山北)
 ○田久昌次郎 (いわき平中央)
 補助金委員会
 ●大野 順道 (福島南)
 江川 正則 (喜多方中央)
 太田 丈人 (いわき小名浜)
 菅沼 裕 (福島)
 資金推進・ポリオ委員会
 ●佐藤 悦夫 (福島東)
 矢内 好男 (船引)
 金田 昇 (白河西)
 佐藤 典祐 (会津若松)
 財団資金管理委員会
 ●川又 暉之 (三春)
 猪股 純一 (田島)
 鈴木 宏幸 (福島北)
 根本 一男 (郡山東)
 担当 鈴木 正晃 (郡山)
 副幹事 横山 大 (郡山)

学友・平和フェロウシップ
 委員会
 ◎鈴木美恵子 (福島グローバル)
 ○渡辺 章 (二本松あだたら)
 小松 博 (いわき小名浜)
 大越 彰 (須賀川)
 高橋 亮一 (喜多方)
 担当 大木 勝浩 (郡山)
 副幹事 佐藤 聡 (郡山)

米山記念奨学会
 委員会
 ◎阿部 光司 (郡山西北)
 ○武島 昭良 (相馬)
 米山記念奨学会推進委員会
 ●渡邊 英世 (福島中央)
 塩谷 憲一 (福島しんたつ)
 一條 浩孝 (福島南)
 竹下真紀子 (いわき桜)
 影山 吉則 (三春)
 米山記念奨学会学友委員会
 ●佐藤壮一郎 (二本松あだたら)
 鈴木 弘康 (いわき平)
 フェンカ・クマラ (福島グローバル)
 平石 典生 (郡山安積)
 佐々木俊雄 (船引)
 米山記念奨学会選考委員会
 ●吉田 喜一 (郡山北)
 泉田 征慶 (浪江)
 岡田 友子 (会津若松南)
 三津間誠吉 (二本松)
 担当 中原 喜範 (郡山)
 副幹事 酒井 良胤 (郡山)

2020-21年度 地区資金予算書

収入金額 48,566,000円
 支出金額 48,566,000円
 差引金額 0円

地区会員数 2,330名

(単位：円)

【収入の部】

項目	前年度予算	本年度予算	前年度比較	摘要
前年度繰越金	500,000	1,500,000	1,000,000	
地区賦課金	35,700,000	34,950,000	△ 750,000	15,000円×会員数
地区大会賛助金	7,140,000	6,990,000	△ 150,000	3,000円×会員数
青少年奉仕助成金	4,760,000	2,796,000	△ 1,964,000	1,200円×会員数
第2530地区災害特別基金	2,380,000	2,330,000	△ 50,000	1,000円×会員数
雑収入	0	0	0	
総計	50,480,000	48,566,000	△ 1,914,000	

【支出の部】

(単位：円)

項目	前年度予算	本年度予算	前年度比較	摘要
1. 地区活動資金	22,030,000	20,650,000	△ 1,380,000	
(1) 委員会活動資金	12,100,000	11,030,000	△ 1,070,000	
A 会員増強・拡大・ロータリー情報委員会	300,000	1,000,000	700,000	
(a) 委員会活動費	300,000	1,000,000	700,000	
B 公共イメージ・IT委員会	700,000	800,000	100,000	
(a) 委員会活動費	700,000	800,000	100,000	
C 職業奉仕委員会	200,000	400,000	200,000	
(a) 委員会活動費	200,000	400,000	200,000	
D 社会・国際奉仕委員会	540,000	540,000	0	
(a) 社会奉仕委員会	240,000	240,000	0	
(b) 国際奉仕委員会	200,000	200,000	0	
(c) その他活動費	100,000	100,000	0	
E 青少年奉仕委員会	8,750,000	6,700,000	△ 2,050,000	
(a) インターアクト委員会	2,000,000	1,900,000	△ 100,000	
(b) ロータリーアクト委員会	1,600,000	1,500,000	△ 100,000	
(c) RYLA委員会	1,000,000	800,000	△ 200,000	
(d) 青少年交換委員会	3,170,000	1,670,000	△ 1,500,000	
(e) その他の活動費	980,000	830,000	△ 150,000	
F ロータリー財団委員会	350,000	350,000	0	
(a) 補助金委員会	100,000	100,000	0	
(b) 資金推進・ポリオ委員会	150,000	150,000	0	
(c) 財団資金管理委員会	50,000	50,000	0	
(d) その他の活動費	50,000	50,000	0	
G 学友・平和フェロシッブ委員会	100,000	100,000	0	
(a) 委員会活動費	100,000	100,000	0	
H 米山記念奨学会委員会	240,000	220,000	△ 20,000	
(a) 米山記念奨学会推進委員会	60,000	60,000	0	
(b) 米山記念奨学会学友会委員会	60,000	60,000	0	
(c) 米山記念奨学会選考委員会	60,000	50,000	△ 10,000	
(d) その他の活動	60,000	50,000	△ 10,000	
I 地区研修委員会	200,000	200,000	0	
(a) 委員会活動費	200,000	200,000	0	
J 危機管理委員会	100,000	100,000	0	
(a) 委員会活動費	100,000	100,000	0	
K 規則・手続委員会	120,000	120,000	0	
(a) 委員会活動費	120,000	120,000	0	
L RLI委員会	500,000	500,000	0	
(a) 委員会活動費	500,000	500,000	0	
M その他の委員会活動資金	0	0	0	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	前年度予算	本年度予算	前年度比較	摘 要
(2) 行事費	9,930,000	9,620,000	△ 310,000	
A 地区大会	7,140,000	6,990,000	△ 150,000	
B 行事補助等	2,790,000	2,630,000	△ 160,000	
(a) 地区研修・協議会	500,000	500,000	0	
(b) IM (分区補助)	640,000	640,000	0	80,000円×8分区
(c) ガバナーエレクト歓送会	100,000	100,000	0	
(d) 会長エレクト研修セミナー	300,000	300,000	0	
(e) 事務担当者セミナー	250,000	250,000	0	
(f) 新入会員セミナー	400,000	240,000	△ 160,000	30,000円×8分区
(g) 地区チーム研修セミナー	300,000	300,000	0	
(h) 地区指導者育成セミナー	300,000	300,000	0	
2. 地区運営費	21,830,000	22,090,000	260,000	
(1) 事務所費	14,750,000	14,900,000	150,000	
A ガバナー事務所費	9,350,000	9,500,000	150,000	
B ガバナーエレクト事務所費	5,400,000	5,400,000	0	
(2) 会議費	2,490,000	2,490,000	0	
A 諮問委員会	300,000	300,000	0	
B ガバナー補佐会議	650,000	650,000	0	
C ガバナー補佐活動費	480,000	480,000	0	
D 地区委員会総会	900,000	900,000	0	
E 戦略計画委員会	30,000	30,000	0	
F RI規定検討委員会	50,000	50,000	0	
G 地区財団運営資金管理委員会	30,000	30,000	0	
H 地区幹事等会議	50,000	50,000	0	
(3) ガバナー月信費	3,700,000	3,900,000	200,000	
(4) 各委員会事務費	540,000	500,000	△ 40,000	50,000円×10委員会
(5) その他の運営費	350,000	300,000	△ 50,000	
3. 地区外関係費	3,698,000	3,468,000	△ 230,000	
(1) 基金拠出金	1,428,000	1,398,000	△ 30,000	
A ローターリー連絡運営基金	476,000	466,000	△ 10,000	上期会員数×100円+下期会員数×100円
B ローターリー文庫基金	714,000	699,000	△ 15,000	上期会員数×150円+下期会員数×150円
C 米山梅吉記念館恒久基金	238,000	233,000	△ 5,000	100円×会員数
(2) 地区外会議費	970,000	970,000	0	
A ローターリー研究会	870,000	870,000	0	
(a) 研究会出席補助	700,000	700,000	0	ロータリー研究会出席補助(G・PG・GE.)
(b) 次年度初頭会議費補助	170,000	170,000	0	現・元・次期ガバナー出席
B ガバナー連絡費	100,000	100,000	0	ガバナー会
(3) 特別補助	1,300,000	1,100,000	△ 200,000	
A 国際協議会出席	700,000	700,000	0	
B 国際大会派遣	400,000	200,000	△ 200,000	国際大会：台湾
C 規定審議会出席	200,000	200,000	0	3年間積み立て
(4) その他	0	0	0	
4. 地区災害特別基金	2,380,000	2,330,000	△ 50,000	
5. 予備費 (次年度繰越金)	542,000	28,000	△ 514,000	
総 計	50,480,000	48,566,000	△ 1,914,000	

※各項目間の流用はガバナーに一任する。

ガバナー補佐方針

■ 県南分区

遠藤 武士
(矢吹RC)



今年度、県南分区ガバナー補佐を務める事になりました矢吹RCの遠藤武士です。各クラブの御協力御支援を賜りたく存じます。

今春より日本全体を覆うコロナウイルス禍の渦中にての準備、7月より活動開始となりました。

私自身、昨年10月より3月まで禁足令の中でした。今年度指針に対して沿う様尽力していきます。日本の有識者等の発言報道によりますと昨今の状態が2年以上継続する予測記事がでております。

「温故知新」の諺を行動の針路とし、今まで築き上げてきた先輩達の原動、何よりも環境に適應して自らを変革して来た会員諸兄姉様の皆様の識見を尊重する事を第一に、そして8クラブの歴史を踏まえて自立性と独自性をもった運営に敬意を表しまして、石黒ガバナー年度の目標を伝える事と各クラブよりの意見聴取、要望を石黒ガバナーへの上申する事に微力ですが、努力して行きたいと思っております。重ねて御協力支援の程お願いします。

■ 県中分区

角田 恒雄
(本宮RC)



2020-21年度県中分区ガバナー補佐を拝命いたしました角田恒雄です。その責務の重さを実感しており、ロータリー歴の浅い私が無事務まるか大変不安ですが、ロータリーのことを勉強し、皆様方のご協力を頂きながら精一杯務めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

石黒ガバナーは、地区重点活動目標として8項目を掲げました。特に力を入れて取り組むことに、ロータリーの原点に帰り、例会出席率を高め会員増強を図ることを挙げております。この目標を達成するには、地区と各クラブが一体となって本気で取り組まないと達成できない目標です。ガバナー補佐として、地区と各クラブが連携を密にし、クラブが積極的に取り組めるように支援することにより、目標が達成できるように努めたいと思います。また、県中分区は小さい分区ですが、その分会員相互のつながりのある分区ですので、そのよさを生かした分区の活動をしていきたいと思えます。

新型コロナウイルスの感染が収まって来てはいますが、第2波が心配されるなか、会員どうしの「繋がり」を大切に活動を行っていきたく思います。一日も早く収束するのを願っています。

■ 双相分区

赤井 博道
(富岡RC)



この度、相双分区ガバナー補佐を拝命致しました赤井博道でございます。

今年度RI会長テーマは「ロータリーは機会を扉を開く」です。正直に言いましてあまりよく理解できていませんが何かぼんやりと分かる気もします。又、本年度 石黒秀司ガバナーの地区重点活動目標は「会員増強と会員基盤クラブ基盤の向上」と明確な目標が掲げられています。この目標に向かって進んで参る所存でありますが相双分区の特異性を考えますと相双6クラブ会長、幹事様又クラブ会員の皆様には多大なお願いをしなければならぬ事になると思えます。新型コロナ禍の中、如何にして目標を達成するか皆様のお知恵を拝借して進んで参りたいと思えますので何卒ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

■ 県北第二分区

佐久間 弘行
(川俣RC)



この度、県北第二分区ガバナー補佐を拝命することになってしまった川俣RC所属の佐久間と申します。ロータリー歴はそこそこ永いのですが、あまり勉強しないでいつの間にか今に至っているのが現実であります。

今思えば、私のロータリー人生の節目の時は、常に自然災害との戦いでした。会長就任直前の飯坂での地区協議会が春のドカ雪、そして会長初めのあいさつで、今年は何があるかわかりませんと言ったら、本当に、東日本大震災が起こってしまって、そのあとも、分区幹事の時のIMは福島市の交通が不能になった大雪に見舞われました。そして今度は、新型コロナ……なんと申したらいいか分かりませんが、これより悪くならないだろうとプラス思考で行くしかありません。

石黒ガバナーが熱き心で、地区活動目標を高く掲げられましたので、ぜひ達成実現となるように微力を尽くしたいと思いますので各クラブ皆様方のご協力お願い申し上げます。

■ いわき分区

林 義 功
(いわき内郷RC)



2020年～21年度ガバナー補佐を拝命致しました、いわき分区林義功（よしのり）でございます。責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

ロータリアンとしてはまだまだ未熟者ではありますが、ベテランロータリアンの皆様のご指導を頂き、この1年石黒ガバナーと各クラブの橋渡し役として頑張っていく所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

今年度国際ロータリーのテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」であります。

そして地区活動目標は

1. 例会最重点で例会出席者の純増・出席率高める（内なる会員基盤・クラブ基盤向上）
2. 会員増強目標2530名（女性・40歳以下253名）
3. 福島職業宣言成文化
4. 青少年ショート交換事業の実施
5. 横断的な委員会ジョイントでの活動の強化
6. ロータリー賞への挑戦
7. ロータリー財団への理解と活用
8. 米山記念奨学会への協力 であります。

特に、①例会出席者の純増・出席率を高める。②会員増強等はそれぞれのクラブでも大きな課題の1つだと思います。

ガバナーが言っておられる魅力のあるクラブ作り活性化のあるクラブ作りにかこ答えがあると思います。本年度はそれぞれのクラブに対しまして問題を提起して頂き、少しでも目標達成にお役に立てるよう努力する所存です。どうぞよろしくお願い致します。

■ 中央分区

藤 田 弘 美
(郡山アーバンRC)



本年度中央分区ガバナー補佐を拝命いたしました、郡山アーバン

ロータリー所属の藤田弘美です。大変な大役を担わせていただくことになり、戸惑っている次第でございますが、ホルガー・クナークRI会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」と同様に、私に機会を頂いたとポジティブに受け止め、精一杯努めさせていただきます。

石黒ガバナーの8つの重点活動目標を実現すべく、担当クラブを訪問し、ガバナーとクラブ間が風通しの良い、橋渡し役になりたいと思っております。また、会長・幹事会を通してコミュニケーションを図り、情報の共有化をし、各クラブが活動しやすいように努力して参りますので、ご指導、ご支援のほどどうぞよろしくお願い致します。

■ 県北第一分区

廣 澤 俊 樹
(福島南RC)



ガバナー補佐の責務の中特に重要である「地区を成功に導くためのガバナー援助と地区目標設定の援助」、「クラブ目標達成の援助」、「将来のリーダーの人材発掘と育成」等に取り組み、その障害となる諸問題解決、また地区重点活動目標8つのうち特に重要と考えられる「例会重点主義」と「会員増強」に対し、真摯に取り組んで参ります。

そしてロータリー情報取得に必要な、My Rotary登録の県北第一分区登録率88%を、さらに向上させ100%を目指します。

現在COVID19によりロータリー活動や運営にも大きな支障を受ける中、発想を転換しオンライン会議を通常も取り入れ、分区運営を更に円滑に進められるように、また今迄例会や会議出席が中々出来なかった会員へも活用し、オンライン出席が可能になるように努力します。停滞に甘んじず一歩でも前に進みましょう。

人生最大の醍醐味である縁を大事にし、ロータリーで出会えた者同士がその縁に感謝し、ロータリアンとして誰かの人生により良い変化をもたらす為に、特色ある県北第一分区7クラブが、それぞれの事業をさらに成長させ目標を達成できるように、浅学非才な私ですが微力ながら精一杯努めさせていただきます。

林 克重、赤間浩一両分区幹事共々、この一年間皆様のご支援とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

■ 会津分区

渡 部 英 一
(猪苗代RC)



歴史と伝統のある分区内10クラブが地域に対応し、自主性を優先した活動ができますように、石黒秀司ガバナーの補佐役として微力ではありますが努めまいります。

ガバナー補佐は各クラブと地区とのパイプ役でもあります。

情報を共有し、コミュニケーションを維持することでリーダーシップや活動の継続性を促し、問題を改善することができるように導くことになると思います。

分区の行事はガバナー公式訪問、ガバナー歓迎会、チャリティー親睦ゴルフ大会、新会員研修会、インターシティ・ミーティング（IM）の開催を予定しています。特にIMにつきましては、地区で10年にわたり猪苗代湖の水環境問題を解決すべく水草回収作業等の事業を行ってまいりました。さらなる環境改善に向けて、小泉進次郎環境大臣をお迎えし、シンポジウム開催を予定しています。各会員皆様の友情の輪が大きく広がり、素晴らしい一年となりますようにご支援ご協力よろしくお願い致します。

2020-21年度 地区研修・協議会報告



地区幹事 関根 信
(郡山RC)



5月30日(土)31日(日)
6月6日(土)6月7日(日)2020-21年度国際ロータリー第2530地区地区研修・協議会がオンラインミーティングで開催されました。

開催場所は、郡山市中町にあるガバナーエレクト事務所をメインとして、サテライトとしてガバナー事務所(福島)佐原病院(喜多方)泉電設(いわき)をお借りしまして、延べ約600人の参加で行われました。

この地区研修・協議会の目的は、次期の各クラブの会長・幹事及び各委員長が就任に先立ちクラブのリーダーシップチームを築けるようにすることと、地区ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、地区委員会の皆がクラブ指導者チームの意欲を喚起し、協力関係を築く機会を提供する事にあります。そして、この地区研修・協議会は次期クラブ会長になるための義務出席の一つにもなっています。

地区研修・協議会は、会長会が10時から開催され、

開会点鐘、芳賀裕ガバナーあいさつ、石黒ガバナーエレクトあいさつ後、議事に入りました。議長は芳賀裕ガバナーが務め、大出隆秀地区資金副委員長より、第一号議案2019-20年度地区大会決算報告があり、続いて福島佳之次期地区資金委員長より、第二号議案2020-21年度地区賦課金の承認、第三号議案2020-21年度地区予算(案)承認が上程され、佐久間英一投票委員会委員長によって、それぞれの議案ごとのクラブ投票結果についての報告があり、いづれの議案も賛成多数で承認可決されました。その後、報告事項に入り、大出隆秀地区資金副委員長より2019-20年度地区中間決算報告があり、続いて関根信次期地区幹事が2020-21年度行事予定を述べ、以上滞りなく議事を終え、芳賀裕ガバナーの閉会点鐘で会長会は閉会しました。

続いて、10時35分から12時35分まで会長部会、規則・手続委員会に入りました。芳賀裕ガバナー、平井義郎次期研修リーダーよりあいさつをいただいた後、鈴木禎夫地区研修・協議会実行委員長のあいさつに続き、石黒秀司ガバナーエレクトのあいさつ、地区の運営方針そして年度目標についての説明がありました。今回の分科会セッションの内容は次のとおりです。

※会長部会、規則・手続委員会

- ・クラブ基盤強化への会長の役割
- ・MYROTARYの活用とクラブ活性化
- ・規定審議会へのタイムスケジュール

5月30日(土)14時~16時30分

※幹事部会、地区研修委員会、RLI委員会

- ・幹事の役割と心構え
- ・ITの活用とオンラインによるクラブ研修
- ・RLIとは?次年度のRLIの予定
- ・地区からのお知らせ

5月31日(日)10時~12時

※会員増強・拡大・ロータリー情報委員会

- ・会員増強・拡大・ロータリー情報委員長方針
- ・会員増強・拡大の取り組み
- ・ロータリー情報委員会の取り組み

5月31日(日)14時~16時

※公共イメージ・IT委員会

- ・次年度活動方針の説明
- ・公共イメージ委員会活動計画の説明
 - ①ロータリー認知度調査から見えた課題
 - ②マスコミ懇談会開催にあたって
- ・IT委員会活動計画の説明
 - ①ロータリー会長賞へのチャレンジ
 - ②MY ROTARYの登録について
 - ③ロータリークラブセントラルの登録について
- ・公共イメージ・IT戦略の具体的取り組み
 - ①SNSやオンライン会議の利活用について
 - ②地区の広報企画について

6月6日(土)9時30分~11時30分

※職業奉仕委員会

- ・職業奉仕の歴史について
- ・職業奉仕Q&A
- ・私の職業奉仕観

6月6日(土)13時~15時

※社会・国際奉仕委員会

- ・社会・国際奉仕委員会 次年度全体方針
- ・国際奉仕委員会「国際奉仕委員会方針と講話者紹介」
- ・事例発表「ベトナムでの小学校建設」
- ・社会奉仕委員会「皆で良いことをしましょう」プロジェクト推進

6月6日(土)15時30分~17時30分

※青少年奉仕委員会

- ・青少年奉仕の意義と役割
- ・青少年交換とは RID2530の青少年交換活動
- ・RYLAとは RID2530のRYLA活動
- ・ローターアクトクラブとは RID2530のローターアクト活動
- ・インターアクトクラブとは RID2530のインターアクト活動

6月7日(日)10時~12時

※ロータリー財団委員会・学友・平和フェローシップ委員会

- ・ロータリー財団委員会の組織・活動について
- ・寄付を使う、寄付を集める活動について
- ・ポリオについて
- ・地区補助金の振り込みと受取人情報書式の記載について
- ・RID2530地区・福島に多くの学友を育てよう!

6月7日(日) 14時～16時20分
※米山記念奨学会委員会

- ・米山記念奨学事業の歴史と現状
- ・米山奨学生卓話

- ・今年度の活動計画・米山推進委員会活動方針
- ・米山学友委員会活動方針
- ・米山選考委員会活動方針
- ・今後の米山の日程と各クラブ米山活動のお願い

以上、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、各分科会が都合4日間に渡っての開催となりました。

準備は出来る限り周到にしたつもりですが、何分初めての試みだったゆえ、不行届の点多々あったとは思いますが。しかし、皆様のご協力で特段大きな問題もなく予定通り無事終えることができました。

ちなみに、全国的にも地区研修・協議会のオンラインでの開催は、稀だったようです。

最後になりますが、今回の研修・協議会にあたりパストガバナーの皆様のお力添え、そして今回サテライト会場をご提供いただきました方々へのご支援、ご協力に改めまして、心より深く感謝を申し上げ、ご報告とします。



郡山サテライト会場



郡山サテライト会場



福島サテライト会場



福島サテライト会場



いわきサテライト会場



いわきサテライト会場



喜多方サテライト会場



喜多方サテライト会場

地区関係行事予定 (2020)

○印はガバナー公式訪問 ◆印は2021-22年度行事

7月		8月		9月	
		会員増強・新クラブ結成推進月間		基本的教育と識字率向上月間	
1 (水)	ガバナー事務所開設 第1回ガバナー会議	1 (土)		1 (火)	○福島北
2 (木)		2 (日)		2 (水)	○保原
3 (金)		3 (月)		3 (木)	○いわき四倉 ○いわき桜(夜)
4 (土)	前期地区委員会総会 郡山ビューホテルアネックス	4 (火)	○会津若松城南	4 (金)	
5 (日)		5 (水)	○喜多方中央 (G歓迎会)	5 (土)	社会・国際奉仕委員会セミナー 米山記念奨学会委員会米山梅吉記念館研修旅行
6 (月)		6 (木)	○猪苗代 ○会津若松中央(夜)	6 (日)	米山記念奨学会委員会 米山梅吉記念館研修旅行
7 (火)		7 (金)		7 (月)	
8 (水)	○福島中央	8 (土)		8 (火)	○梁川
9 (木)	○福島 ○福島21(夜)	9 (日)		9 (水)	○川俣
10 (金)		10 (月)	山の日	10 (木)	○飯坂 ○だて西(夜)
11 (土)	クラブ研修リーダー向けセミナー	11 (火)		11 (金)	○福島東
12 (日)	米山記念奨学会委員会卓話研修会	12 (水)		12 (土)	
13 (月)	○福島西	13 (木)		13 (日)	
14 (火)		14 (金)		14 (月)	○須賀川 ◆ガバナーエレクト研修セミナー
15 (水)	○二本松	15 (土)		15 (火)	○白河 ◆ガバナーエレクト研修セミナー
16 (木)	○二本松あだたら	16 (日)		16 (水)	○矢吹 ○須賀川ぼたん(夜)
17 (金)	マスコミ懇談会	17 (月)		17 (木)	
18 (土)	ロータリー財団委員会セミナー	18 (火)	○いわき内郷(夜)	18 (金)	
19 (日)		19 (水)	○いわき勿来	19 (土)	学友・平和フェロシップ委員会 合同セミナー
20 (月)	○会津若松南	20 (木)		20 (日)	
21 (火)	○喜多方	21 (金)	インターアクト連絡協議会	21 (月)	敬老の日
22 (水)	○福島南	22 (土)	青少年奉仕委員会セミナー 南東北総合卸センター協同組合	22 (火)	秋分の日
23 (木)	海の日	23 (日)		23 (水)	○白河南
24 (金)	スポーツの日	24 (月)	○いわき常磐	24 (木)	○石川 ○白河西(夜)
25 (土)		25 (火)	○いわき小名浜	25 (金)	
26 (日)		26 (水)	○いわき平東	26 (土)	職業奉仕委員会セミナー 南東北総合卸センター協同組合
27 (月)		27 (木)	○いわき平	27 (日)	
28 (火)	○田島	28 (金)	○いわき平中央	28 (月)	○郡山北
29 (水)	○会津若松	29 (土)	公共イメージ・IT委員会セミナー 農業総合センター	29 (火)	○東白川
30 (木)	○会津若松西	30 (日)		30 (水)	○本宮
31 (金)	○会津坂下	31 (月)	○福島しんたつ(夜)		

10月		11月		12月	
経済と地域社会の発展月間／米山月間(1)		ロータリー財団月間		疾病予防と治療月間	
1 (木)	○原町	1 (日)		1 (火)	
2 (金)		2 (月)		2 (水)	
3 (土)		3 (火)	文化の日	3 (木)	
4 (日)		4 (水)	○船引 ○小野(夜)	4 (金)	
5 (月)	○福島グローバル(夜)	5 (木)	○郡山南	5 (土)	
6 (火)	○相馬	6 (金)		6 (日)	
7 (水)	○富岡	7 (土)	喜多方中央RC30周年記念事業 七福神ホール 13:00～	7 (月)	
8 (木)	○浪江	8 (日)		8 (火)	
9 (金)		9 (月)		9 (水)	
10 (土)		10 (火)	○郡山東	10 (木)	
11 (日)		11 (水)	○郡山西 ○郡山アーバン(夜)	11 (金)	
12 (月)		12 (木)		12 (土)	
13 (火)	○滝根 ○常葉(夜)	13 (金)		13 (日)	
14 (水)	○原町中央	14 (土)	県北第一分区IM ウエディングエルティ 14:00～	14 (月)	
15 (木)	○三春	15 (日)		15 (火)	
16 (金)		16 (月)		16 (水)	
17 (土)	地区大会記念ゴルフコンペ	17 (火)	○郡山コスモス	17 (木)	
18 (日)		18 (水)	○郡山西北	18 (金)	
19 (月)		19 (木)	○郡山	19 (土)	
20 (火)	○南相馬	20 (金)		20 (日)	
21 (水)		21 (土)		21 (月)	
22 (木)		22 (日)		22 (火)	
23 (金)	リハーサル 郡山ユラックス熱海	23 (月)	勤労感謝の日	23 (水)	
24 (土)	地区大会 郡山ビューホテルアネックス	24 (火)	第49回ロータリー研究会 日本のロータリー100周年記念式典	24 (木)	
25 (日)	地区大会 郡山ユラックス熱海	25 (水)	第49回ロータリー研究会	25 (金)	
26 (月)		26 (木)	第49回ロータリー研究会	26 (土)	
27 (火)	○郡山安積	27 (金)	第49回ロータリー研究会	27 (日)	
28 (水)	○南相馬	28 (土)	会津分区IM	28 (月)	
29 (木)		29 (日)	◆ガバナーエレクト事務所開設披露 ◆ガバナーエレクト国際協議会壮行会	29 (火)	
30 (金)		30 (月)		30 (水)	
31 (土)				31 (木)	

2020年5月11日現在 ※2021年1月からの行事は後日掲載



奉仕のウイルス

職業奉仕委員長 初瀬 照夫

思いやりをもって人のお役に立つことが「奉仕の理想」でありそれぞれの天職である事業の中で実践してゆくと共に自分自身を磨いてゆくことが職業奉仕の精神と思います。新型コロナウイルス騒動によってそもそも食料や衣服など日常生活のすべてを誰しもが他人に依存していることを身に染みて感じました。他人の存在他人の意義ある職業なくしての生活はありえません。寄り添って生きているのだから感染症にかかるのも当たり前です。人と人との支え合いは思いやり (Care)、分かち合い (Share) の心であり関係 (Concern) し合っています。職業を通して自分自身を磨きながら、天職としての自分の職業に誇りを持ち、正直かつ品位ある方法で職業を通して社会に貢献するという職業奉仕の精神はロータリークラブ100年の歴史の中で創立以来ずっと守られてきました。また、たくさんの先輩たちがその誇りを高めてきました。自分の事業を発展繁栄させるためにはどうしたら良いか?自分の事業を発展繁栄させるためにはどのような人間にならなければいけないのか?をロータリークラブが教えてくれています。ロータリークラブは倫理運動であります。また、道徳運動でもあり向上運動でもあります。世の中は変わりますが変えてはいけないものがあります。世の中がどのように変わろうともわれわれは何のために生きるのか?どのような生き方をしなくてはいけないのか?は変わりません。すなわち、職業奉仕の精神は変わりません。友情、誠実、公平、信頼、尊敬の高潔性を高めることです。ロータリーは職業に取り組む心構えを教えてください。ガイ・ガンディカーは、1917年100年以上前に「ロータリーは人間の外観を作るのではなく人間の内面を作るのだ」と言っています。平均年齢60歳を過ぎてからの「円熟の学び」も必要ですが青少年のうちにこの奉仕というものの考え方を身につけなければなりません。そのような中で私たちは忘れることを恐れてはなりません。読み忘れ聞き忘れしながらまた聴き、また読んでさらなる体験を積みながら一步一步真のロータリアンに近づくことができます。真のロータリアン、本当のロータリアン、立派なロータリアンとは、ロータリーを咀嚼して自分のことばでロータリーを語れる人です。職業奉仕を理解してロータリーの理念を広めることに強い意志を持つ人であります。真のロータリアンが増えればおのずと会員増強にも及びます。また、ロータリークラブは職業を2つに分けております。一つは事業をする人 (Business) もう一つは専門職の人たち (Professions) であります。専門職の人たちは仕事そのものがお客様から感謝されます。弁護士さん、お医者さん、宗教家、教育者がこの職種に当てはまります。感謝や愛情が自分に返ってきます。さて、問題はもう一方の事業をする人です。事業を営むときいかに専門職の方たちのように感謝・愛情が自分に返ってくるようにできるかが職業奉仕の永遠の課題になっております。要は「心の過程の問題でいかに心を込めて事業をすすめるか」です。今年度は実際の職業奉仕の事例が載っているパーシーホジソンの「奉仕こそわがつとめ」を読み解きたいと思います。また、ハーバード・テラーは窮地に陥ったアルミニウム販売会社の経営を自分自身に対する神のお告げ「天命」として受けました。その経営方針である4つのテストを掲げることは信用・品質・誠実を現しており、旧約聖書エレミア書9章22,23節の「慈しみ・公平・正義は神が喜ばれることである」から引用しています。

月信委員会・ガバナー事務所



委員長 有賀 隆宏 (前列中央)
副委員長 宮川 雄次 (前列右)
委員 佐藤 聡 (後列右)
委員 高橋 裕一 (後列中央)
委員 坂本 和久 (後列左)
事務局 清水美佐子 (前列左)

本年度より、5名で月信委員会を務めさせていただきます。
また、多くの会員の皆様より季節の写真を投稿頂きありがとうございます。出来るだけ、早い情報を提供したいと考えておりますので、締切日に間に合う様原稿の提出をお願い致します。
月信のメールアドレスは、2020-21gextushin@ri2530.netとなります。
一年間よろしくお願致します。

〈 今月の表紙紹介 〉



福島北RC 太田浩之

前日に燧ヶ岳登頂し「尾瀬小屋」に疲労困ばいでたどり着き、翌日早朝より快晴の尾瀬ヶ原を散策しながらの写真です。

まだまだ、表紙の写真を募集しております。ふるってご応募ください。お待ちしております。